

# 立川市地域脱炭素ロードマップ(案)

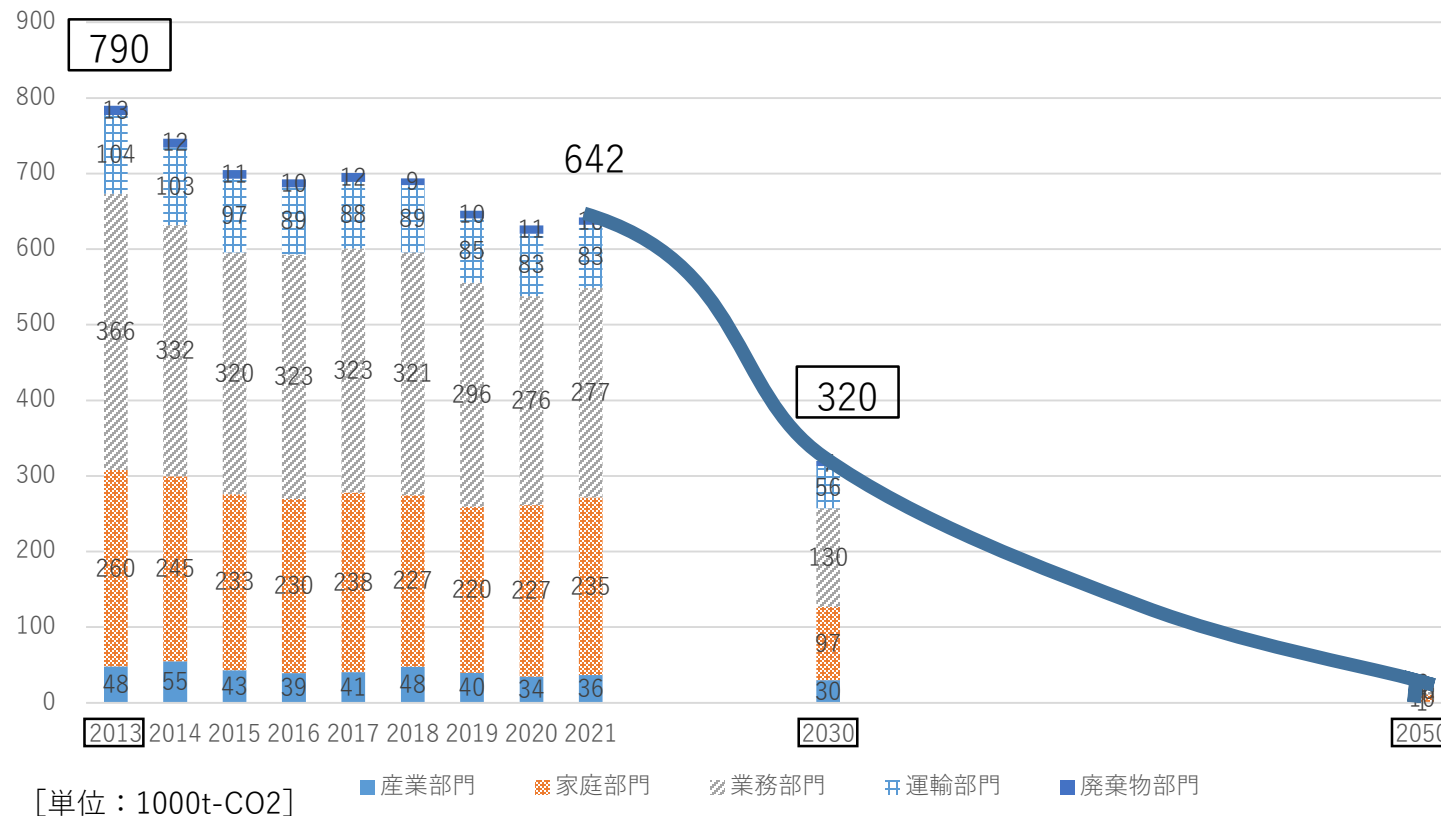
令和6年5月13日

第2回環境審議会 資料1

## 立川市地域脱炭素ロードマップの位置付け

- ① 令和2(2020)年度に、「第2次環境基本計画」の中間見直しと併せて、令和6(2024)年度までの計画として「地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を改定
- ② 令和4年(2022)年度に、次期「地球温暖化対策実行計画」策定までの努力目標として、2030年までの「カーボンニュートラル基本方針」を公表(区域施策編について項目あり)
- ③ 現在、次期「環境基本計画」「地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)」「地域気候変動適応計画」の策定作業中
- ④ この「地域脱炭素ロードマップ」は2050年度カーボンニュートラルの実現に向けた、次期「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の基本的な方針を示すものとして作成

立川市の二酸化炭素排出量の状況・目標値



・2030年度には2013年度比約60%の削減を目標とする。(※東京都環境基本計画のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量削減目標に準拠)

・2050年度カーボンニュートラルの実現を目指す。

可能な限り0を目指す！  
(削減しきれない部分はカーボンオフセットやカーボンクレジットで相殺)

# 目標達成のために検討すべき主な課題

## 【省エネルギー活動の推進】

徹底した省エネを意識したライフスタイルの啓発等

## 【再生可能エネルギーの利用促進】

再生可能エネルギーの自家消費を推進等

## 【脱炭素まちづくりの推進】

地域エネルギー会社も視野に入れたまちづくり等

## 【広域的なCO2吸収源の確保】

カーボンオフセットの推進、J-クレジットの購入等

## 【気候変動適応策の推進】

庁内横断的な連携で検討し、施策を展開等

脱炭素社会の実現に向けた連携

各項目にキーマンとなる人材の育成  
とネットワークづくり